

# 郡市医師会長プロフィール



滝川市医師会

鈴木 忠男 先生

平成18年5月16日、滝川市医師会第7代会長に鈴木忠男先生が就任されました。

鈴木会長は、夕張市生まれで、今年64歳です。昭和42年札幌医科大学卒、札幌大第三内科同門。昭和52年滝川市に鈴木内科クリニックを開業しました。

横須賀米国海軍病院にてインターン修了後、昭和44年より4年間、アメリカに留学、ニューヨーク大学医学部、ハーバード大学医学部ジョスリン糖尿病センターなどにて糖尿病学を専攻。帰国後、糖尿病治療に必須のインスリン自己注射や血糖自己測定健康保険適用を目指して、昭和49年8月、北海道小児糖尿病サマーキャンプを創設されました。この医療キャンプは平成18年には第33回目を迎えております。この経験から鈴木会長は早くか

ら医師会活動、医療行政について興味を持ち、平成2年より滝川市医師会理事をされ、その後、北海道医師会常任理事、北海道総合医療協議会委員、日本医師会医師福祉対策委員会委員などを歴任された医師会活動のベテランです。

また現在、鈴木会長は道外医師ら有志の方々と、小児がんなどの難病と闘う子どもたちが、安全に安心して自然体験が楽しめるようにと、滝川市の丸加高原に、医療的バックアップ体制が整った国内初の、アジアでも初めてとなる常設のキャンプ場「そらぷちキッズキャンプ」の実現を目指し、北海道連絡所を滝川市医師会館内に開設し頑張っています。

趣味はゴルフ、カラオケ、海外旅行など。

滝川市医師会は、鈴木新会長のリーダーシップのもと、鈴木会長のモットー「簡素に、楽しく、活力をもって」を掛け声に、滝川市民の健康の保持・増進のため、会員の先生方の努力と協調のもと、新年度の医師会活動が力強くスタートしました。

(滝川市医師会副会長 篠島 弘)